



横浜市会本会議にて予算関連質疑に立ちました

黒川まさるのローカルマニフェスト

「愛する金沢再生プラン5」を発信

2023年4月に横浜市会は改選期を迎えます。

黒川まさる横浜市議員は、これまでの4年間に実現させてきた政策を振り返り、次の4年間にどのように金沢区政を推進していくのか、子どもたちの未来のために、今取り組むべき政策とは何かを示すため、金沢区民のみなさまに向けたローカルマニフェスト『愛する金沢再生プラン5』を新たに策定いたしました。ここに概要を発表します。



守り続ける歴史がある。

昭和40年代の野島海岸

進化させる未来がある。

令和初期の野島海岸

横浜市議員 黒川まさる

①人口対策 これまでの成果

暮らし・子育てに
余裕が出来て楽しくなる
金沢区の魅力を創出します。



黒川まさるの
『愛する金沢再生プラン5』



六浦や釜利谷などで高齢者や子育てママに便利なバスルートの見直しをしました。児童相談所で弁護士を採用し法的根拠に基づいた迅速な虐待対応を実現しました。区内各地の子育て支援や多世代交流の拠点が親子の不安の解消に役立っています。トミオカートやシェアサイクルの実証実験などで移動環境の整備を進めています。並木地区などの団地再生にURや住宅供給公社や区内の大学と取り組んでいます。区内居住者の臨海部からの雇用のためのマッチング事業を展開しました。



これからの目標

総合的な子育て支援政策と子育て環境の整備を広報し金沢区への転居を進めます。親子の居場所づくりや児童家庭支援センターで子育てママの孤立化を防ぎます。古い建築協定を見直し多世代同居や区画分割で若い世代を金沢区に呼び込みます。多様な住み方や建て替え手法などを調査・研究・実践し古い団地を再生させます。金沢区内の旧市街地の空き家対策や狭隘道路の解消を進めます。仕事・買い物・余暇活動など区内循環経済を創出し家族との時間を増やします。



誰もがしあわせな暮らしが実感できる金沢区を再生します

②地域交流 これまでの成果

地域交流拠点を多角的に
展開し人々が集う
機会を増やします。



黒川まさるの
『愛する金沢再生プラン5』

クラブ活動における地域人材の活用が横浜市でも令和5年度から始まります。区内各地に新たな多世代交流の拠点が次々と生まれ定着してきました。交流拠点をネットワーク化してパンフレットを作り様々な拠点を紹介しました。AOZORA Factory 金沢八景市場など新しいタイプの拠点も活性化しています。地域ケアプラザや地区センターも活動が広がり多くの人々が集まっています。子どもたちや子育てママたちが集まる拠点多く増えて地域に定着してきています。都市整備局のまち普請事業以外にも金沢区独自の助成金なども充実しました。



これからの目標

地域の優秀な才能を人材バンク化して中学校の部活動に活躍してもらいます。様々な地域交流拠点間での連携を進め情報や人材の交流をさらに進めます。区内各地の多世代地域交流拠点に新しい人材が参加できるよう支援します。妊産婦や乳幼児を抱える家庭が安心できる災害時避難拠点ガイドを作ります。自治体・国・企業・団体などの拠点運営サポートや助成事業を一元化します。制度上の規制や課題を克服して空き家や空き店舗を交流拠点に転換させます。



さまざまな拠点で活躍する人材間の新たな交流を進めます

③経済育成 これまでの成果

金沢区内の
地域に根ざした元気な
中小企業を応援します。



黒川まさるの
『愛する金沢再生プラン5』

グッドバランス・健康経営・Y-SDGs など新たな認証制度も定着しました。横浜市の認定を多数取得した企業へのグランドスラム表彰制度を創設しました。臨海部産業団地の若手経営者の連携や新たなビジネスへの挑戦を応援しています。台風被害やコロナで影響を受けた企業を無利子融資や補償などで支援しました。商店街の法人化や割引クーポン、アプリなどで地元での経済循環を支援しました。スタートアップや女性起業家支援で新たな雇用や事業の創出を支援しています。



これからの目標

グランドスラム達成企業は横浜市内で100社・金沢区で20社を目指します。Aozora Factory など若手経営者が地域に根差す新たな試みや連携を支援します。臨海部産業団地への並木や内陸部からの雇用を推進して職住近接を実現します。産業振興センターやテクノタワーの未来図を地域のみなさんとともに描きます。小規模企業や飲食店などの人材不足解消・コロナからの復活に全力を注ぎます。若い世帯が安心して子供を産み育てられる経済環境を作れるよう支援します。



金沢区内で頑張る中小企業や商店街を徹底支援します

④ 観光振興

横浜市の体験型観光の拠点を金沢区に創出します。



黒川まさるの『愛する金沢再生プラン5』



これまでの成果

大河ドラマを契機に金沢区の歴史散歩の案内表示や観光案内を充実させました。横浜金沢観光協会のSNSやウェブサイトの金沢区独自の取り組みを支援しました。毎年秋に開催するカヌー大会の実行委員長としてマリンスポーツを応援しています。協会役員として金沢シーサイドトライアスロンや海の公園練習会を定着させました。シェアサイクルの実証実験を郊外部での実施を提言し金沢区でも開始しました。八景島・バイサイドマリーナ・南部市場の環境活動や地域貢献活動を支援しました。



これからの目標

漁業・農業を活かした金沢区独自の地産地消や市民農園の取り組みを推進します。海の公園でのトライアスロンやマラソン大会でスポーツツーリズムを振興します。平潟湾・野島海岸等金沢の海の環境を守り安心安全な海のレジャーを展開します。金沢区の歴史・自然・観光資源をDXやGXを活用した体験型の観光資産にします。コロナ後の外国人観光客や中・西区に来る日本人観光客を金沢区に呼び込みます。自転車やウォーキングでテーマ別に金沢区の歴史巡りが出来る仕組みを作ります。



金沢区に羽田空港・横浜港からの国内外観光客を呼び込みます

⑤ 権限委譲

新たな大都市制度の構築と市から区への権限委譲を進めます。



黒川まさるの『愛する金沢再生プラン5』

これまでの成果

『特別自治市』から『特別市』構想へと名称が変わり新展開が期待されます。県内3政令市の自民党議員による『政令市サミット』を開催しました。福田紀彦川崎市長が『特別市実現に向けて』横浜市会で基調講演を行いました。横浜市会出身の古川直季衆議院議員が国会内で『特別市構想』を拡散中です。金沢区独自の自主的な市民による地域活動を支援する補助金制度が出来ました。



これからの目標

『特別市』構想実現に向けて同志の政令市とともに国への働きかけを進めます。神奈川県や周辺市町村に対してメリットや恩恵などを説明し理解を求めます。権限移譲された教育政策や都市計画等は横浜市独自の色をさらに打ち出します。『特別市』が日本経済のけん引役となる必要性を政府や国会議員に働きかけます。デジタル化を進め区役所を手続き申請機関から住民サービス機関へと転換します。人口減少対策や雇用・経済対策などは金沢区独自の政策で課題解決を目指します。



国と直結した特別市を実現して迅速な政策判断を可能にします

⑥議員改革

横浜市会を
全国最先端の
改革実践議会とします。



黒川まさるの
『愛する金沢再生プラン5』

これまでの成果

全国議会改革度ランキングで政令市第1位・県内自治体第1位を獲得しました。市民提案を政策に反映する『横浜みらい創生プラットフォーム』を作りました。横浜自民党政調会長としてマニフェスト大賞最優秀賞を受賞しました。全国各地で事例発表などを行い横浜で成功した議会改革を全国に発信しました。議会運営委員長としてリモートでの委員会や視察を実践・制度化させました。議会運営委員長として育児をしながら議会に出席できる仕組みを整えました。



これからの目標

市民からの提案を政策に生かせる仕組み・流れを自民党内に定着させます。マニフェストサイクルを定着させて横浜市政を着実に進化させていきます。議会改革を進める同志の地方議員と全国的に議会改革運動を展開します。横浜の未来のために政治に関心を持つ若者や女性を政治家に育てます。議会の見える化・効率化・デジタル化を進めて議会改革を進化させます。育児や介護をしながらでも議員として仕事ができる体制を整えます。



横浜市会運営委員長・横浜自民党政調会長として 誰もが横浜市会議員を目指せる議会に改革します



横浜自民党のマニフェストもぜひお読みください

黒川まさる市議が、よこはま自民党の政務調査会長として策定に取り組んだ、よこはま自民党の政策集『責任と約束・子どもたちの未来へのコミットメント』は16ページ仕立ての、横浜市政の未来を見据え、市民とともに策定した、よこはま自民党独自のローカルマニフェストです。

2月半ばからは、よこはま自民党のホームページからご覧になることができます。こちら併せてお読みいただき、横浜の未来について、みなさんも一緒に考えてみてください。



LINE公式アカウントを始めました。
黒川まさるの政策や活動を発信します。

ぜひ登録をお願いします。

LINEの「友だち追加」から、ID検索するかQRコードをスキャンしてください



市民に開かれた、わかりやすい政治を目指す、黒川まさる横浜市会議員に対する期待、要望、激励、メッセージなどをお寄せください。
いただいた連絡先は、返信以外には使用いたしません。

お名前

ご連絡先

返信 FAX 045-786-4310

または masaru-k.net@hb.tp1.jp